

# 決算特別委員会の概要

令和5年度の決算認定議案は、9月定例会において決算特別委員会に付託されました。同委員会は10月15日から18日までの4日間で開催され、一般会計決算の認定他16件の審査を行いました。

## ―委員長報告より―

令和5年度は、国際情勢に起因する物価高騰が市民生活に大きな影響を与えた年であり、市民等を支援する事業を最優先に取り組み、れたほか、子ども・子育て支援・教育環境整備事業、デジタル化推進事業など「三原市長期総合計画後期基本計画」の基本目標実現のための各事業が実施されました。

議85 一般会計歳入歳出決算の認定

### 【主な質疑】

**重度障害者タクシー利用助成事業**

**問** 重度障害者タクシー利用助成事業が実施され、障害者の外出支援は拡大されたが、高齢者においても優待乗車証の支援だけでなく、タクシー利用の支援を行っているかどうか。

**答** 高齢者の外出支援が充分だとは考えていないが、財政的な問題などもあり、実施は難しいと考えている。

**ひきこもり相談支援ステーション事業**

**問** 実績と今後の展望を聞く。

**答** 18歳以上64歳以下の引きこもり状態にある方の相談を受けており、5年度は、53人の方から延べ282件の相談を受けた。

今後は、課題を整理し、必要な取組や人員体制等を検討して積極的な情報発信を行うなど、周知を図っていく。

**スマート農業支援事業**

**問** 実践モデルの導入件数と事業効果について聞く。

**答** 13経営体が、水位センサーや自動で給水及び止水する給水ゲートを設置された。事業者からは、水の管理や異常時の早期発見に効果があったという意見や、見回り時間が削減できたので、規模拡大を検討したいとの報告を受けている。

**空家等対策事業**

**問** 空き家の件数が増加しているが、特定空家等の認定基準や判定状況、また、補助事業の活用状況について聞く。

**答** 建物の老朽度に影響度を加算

し、空家等対策計画に定める基準を超えるものを特定空家等に認定している。5年度は、現地で判定を実施した21件のうち、そのまま放置すると倒壊等保安上危険となる6件を特定空家等と認定した。また、解体された特定空家等6件のうち補助事業を活用したのは3件であった。

**常備消防施設等整備事業**

**問** 5年度に導入された映像通報システム（ライブ119）の運用状況と効果について聞く。

**答** スマホから119通報があった場合、スマホと指令センターを映像でつなぐことにより、現場の詳細な状況を把握できる。

今年度の使用実績は、本市2件、尾道市8件である。

議91 国民健康保険（事業勘定）特別会計決算の認定【主な質疑】

**問** 5年度は税率を据え置いたが、基金や剰余金を使って引き下げることができなかったのか。

**答** 5年度は、標準保険料率が上昇する中、本市では前年のまま据え置いた。これは実質的な引き下げであり、本市の水準が高いとは考えていない。

**【反対討論】** 議第85号について、多額な不用額を出しているが、不用額は市民の要望や新規事業の拡充に充てるべきであった。また、議第91号について、5億5千万円の基金と繰越金を有しており、引き下げ措置ができたはずであることから、反対する。

**【賛成討論】** 「地域づくりは人づくり」という考えを基本に「子ども・子育て支援」「教育・人づくり」「参画・活躍の後押し」の3つの視点で取組を強化し諸施策を展開され、着実な都市基盤の整備や高齢者福祉に努めながら、健全な財政状況を維持していることから、賛成する。

**【採決】** 議第85・91・93号は賛成多数をもって、残余の14件は全員一致により、各決算は認定すべきものと決した。



Live119

スマートフォンで撮影している映像が消防に伝送されるシステム